

南西フランスから北スペインへ～巡礼の道とロマネスクの旅



ブエンテ・ラ・レイナの巡礼の橋

天の川の果てに聖ヤコブの国を訪ねて

中世のキリスト教世界には、3つの大巡礼地がありました。キリストの生涯に関わる重要な聖地・エルサレム。12使徒の1人目・聖ペテロの墓があるカトリック教会の総本山・ローマ。そしてイベリア半島の北西端、ヨーロッパの「地の果て」と呼ばれたサンチャゴ・デ・コンポステラです。中世の時代、イスラム教徒の手中にあったエルサレムへの巡礼は、庶民にとってあまりに遠く、危険が常につきまとっていました。ローマは、アルプス越えの難所があるにしても、はるかな聖地によく辿り着いたという感動には若干欠けます。それだけに、フランス、ドイツ、イタリア等からの巡礼者たちは遥かピレネーの向こうサンチャゴ・デ・コンポステラを目指して歩きました。最盛期の12世紀頃には、巡礼者の数は年間50万人に達したといわれています。今も昔も多くの巡礼者を惹きつける理由は、そこにキリストの12使徒のひとり、**聖ヤコブの墓**があるためです。

サンチャゴ・デ・コンポステラへの巡礼路は、ヨーロッパ中に網の目のように広がっていました。ベルギーや北ドイツからの巡礼者達は北フランスのパリかヴェズレーで、スイスやイタリアからの巡礼者達は南フランスのル・ピュイカアルルで集合しました。この4つの町から発した巡礼路は合流しながら、ピレネー山脈を越えてスペインに入り、ブエンテ・ラ・レイナの町で1つになります。

今回のコースでは、一般的な北スペインのツアーのように主に現代の幹線道路を走るのではなく、**中世の時代に巡礼者が歩いた本当の巡礼の道**を移動し、各地に点在する美しいロマネスクやゴシックの教会堂をたっぷりご覧いただけます。また、今回は**巡礼手帳**を発行し、各教会の到着証明スタンプを押して巡礼地を巡ります(サンチャゴ・デ・コンポステラ到着後の巡礼証明書は到着条件に満たないため、受け取ることはできません)。2020年7月に大修復を終え、色彩を取り戻す**大聖堂は必見**です。6名様より出発いたしますので、お早めのお問い合わせをお待ちいたしております。



ご旅行期間とご旅行料金

2020年
9月3日(木)発～9月15日(火)着
 …**¥545,000**
一人部屋利用追加料金 ¥78,000

『ロマネスクのシスティーナ礼拝堂』サン・イシドロ

かつてセピリアの大司教だったイシドロのために建てられた教会堂の西側地下には、「**ロマネスクのシスティーナ礼拝堂**」と称される美しい壁画が残されています。

この王家の霊廟でもある西側地下に残された見事なロマネスク様式の壁画は、低く限られたスペースの中に新約聖書の場面から、当時の**農村生活の様子**まで描かれています。今から約900年前に描かれた壁画とは思えないほど保存状態が良く、まるで中世の時代にタイムスリップしたかのような錯覚に陥ります。



レオン/サン・イシドロ教会

サント・ドミンゴ・デ・シロス修道院

この場所の名は、アラビアのアッバス朝カリフにより破壊された古いゴート族の僧院を11世紀にサント・ドミンゴに捧げるために建てられたことに由来します。のちに遺棄された同修道院は、1880年にフランス南西部ポワトゥー地方からやって来たフランスのベネディクト会士たちの避難場所となりました。

サント・ドミンゴ・デ・シロス修道院内には、**スペインで最も美しいと称されるロマネスク様式の中庭回廊**が残されています。繁栄を偲ばせるいくつもの柱頭や、ムデハル様式の影響を受けた装飾がいたるところに見られ、特に「**トマス**の不信」として知られる彫刻は、ほぼ完全な状態で残されています。この彫刻は、イエスが復活した事を信じない聖トマスが十字架上でイエスが刺された右わき腹を見ている場面です。

スペイン巡礼路上に数ある教会建築の中で、これほど素晴らしい回廊装飾が残されているのはサント・ドミンゴ・デ・シロス修道院だけでしょう。



トマスの不信



巡礼の道の巡礼者(イメージ)

ご旅行条件

- 募集人員 / 12名様限定
- 最少催行人員 / 6名様
- お食事 / 朝食11回 [ビュッフェ又はアメリカン]・昼食4回・夕食10回
- ※農村地域で日本から予約できるレストランのない日は昼食は除いています。現地で添乗員が軽食をご案内します。
- 羽田空港施設使用料 / ¥3,170 (別途必要)
- 国際観光旅客税 [出国税] / ¥1,000 (別途必要)
- 旅行代金には、**海外の空港税、出国税、航空保安税が含まれております。**
- 弊社では**燃油サーチャージ**を別途徴収いたしません。
- 千歳空港より、全行程、社員添乗員同行
- トランク往復無料託送サービス [ご自宅～空港～ご自宅]
- ※成田発着:¥10,000引き
- ※大阪・中部・福岡発着:同一料金
- ※ビジネスクラス追加料金はお問合せください。

ご利用予定ホテル

- トゥールーズ / ノボテル、クラウンプラザ、ホリディン、キリヤド
- ルルド / アストリア、デラバレー、アメリカ、メルキュール
- パンブローナ / ホテル・ブランカ・デ・ネバラ、メゾン・ネイブ
- ログローニョ / ヘレンチア・リホハ、カルトン・リオハ、メリア・コンフォート・ロス・ブラコス、ゼニット
- ブルゴス / NHパラシオ、ホテル・デ・シド、ウサアルランゾン
- レオン / アルフォン5世、ACサンアントニオ、ACボンフェラーダ、ユーロスターズ、トリップ・レオン、ウサ・サンティアゴ、コンデルナ
- ルーゴ / ルーゴ、メンデス・ニューネス、シウダッド・デルーゴ
- サンチャゴ・デ・コンポステラ / メリア・アラグアニー、トリップ・サン・ラザロ、プエルタ・デル・カミノ、ACパラシオ・デル・カルメン、エスペリア・コンポステラ、NH、エスペリア・ペレグリーノ、グランホテル

※右記の時間は、すべて現地時間で表示されております。
 ※現地の都合によりスケジュールが変更される場合がございます。その場合でも極力日程に従って旅行サービスをご提供できるよう万全の手配努力を致します。
 ※表記の「**【】**」はそれぞれ「朝食・昼食・夕食・機内食」を示します。区印の食事は含まれておりません。
 ※利用便により、発着地が成田から羽田へ変更となる場合がございます。
 ※宗教施設内は現地の事情により入場できない場合がございます。予めご了承下さい。
 ※ご希望の方は、一部巡礼の路を歩くことが可能です。その場合、歩かれない方は、専用バスにて目的地へ先回りすることとなります。予めお含みください。

日次	都市名	スケジュールと見どころ / お食事と宿泊地
1	千歳 羽田 トゥールーズ	スーツケース無料託送サービス ご自宅～空港 午前、千歳空港より、国内線にて、羽田空港へ。 午後、羽田より、ヨーロッパ主要都市を経由し、南フランスのトゥールーズへ。 【トゥールーズ泊】 【区】
2	(モワサック) トゥールーズ	午前、トゥールーズ郊外の モワサック へ。着後、西南フランス屈指の サン・ピエール修道院 にて、ロマネスク様式の美しい正門玄関や、大理石で造られた円柱が立ち並び回廊を見学します。長身のエレミア像は必見です。 午後、バラ色の街 トゥールーズ の見学。サンチャゴ・デ・コンポステラへの巡礼者収容用に建てられた サン・セルナン 聖堂や、 キャピトル広場 へご案内いたします。昼食は名物の カスレ です。 【トゥールーズ泊】 【区】
3	トゥールーズ サン・ベルトラン ・ド・コマンジュ ルルド	午前、専用バスにて、ピレネー地方の サン・ベルトラン・ド・コマンジュ へ。着後、ロマネスク様式とフレスコ画が残る サント・マリー 大聖堂を訪ねます。 夕刻、専用バスにて、 聖母御出現の聖地・ルルド 到着。 夜、ご希望の方で 夜のローソク行列 へご案内します。 【ルルド泊】 【区】
4	ルルド オロン・サトマリ サン・ジャン・ピエ ド・ポール イバニェタ峠 パンブローナ	午前、専用バスにて、アスプ渓谷とオソー渓谷の合流地点に位置する オロロン・サトマリ へ。着後、タンパンの装飾が美しい サント・マリー 教会へご案内いたします。その後、サンチャゴ・デ・コンポステラの フランス側最後の合流点であるサン・ジャン・ピエド・ポール へ。 午後、ピレネー山脈の国境を越え、 イバニェタ峠 (1057m / ロンズジョー峠)へ。 「ローランの碑」 をご覧くださいのち、パンブローナへ。 【パンブローナ泊】 【区】
5	パンブローナ フエンテ・ラ・レイ ナ エステリヤ イラチェ ログローニョ	午前、 パンブローナ市内観光 (豪華な装飾の回廊が印象的なカテドラル、かつてのバスク人の居住区など)。昼食はナバラ地方特産の 赤ピーマンの肉詰め です。 午後、『 巡礼の道 』を進み、ログローニョへ。途中、二つの 巡礼の道の合流点フエンテ・ラ・レイナ 、巡礼者たちに「 小町娘 」と呼ばれていた 町エステリヤ のサン・ミゲル教会と サント・セブルク 教会、巡礼路の重要な 宿場町イラチェ の ワインの泉 を訪ねます。ログローニョ着後、 サンタ・マリア・デ・ラ・マドンナ 大聖堂など、旧市街へご案内いたします。夕食には、 イベリコ豚のステーキ をお召し上がりください。 【ログローニョ泊】 【区】
6	ログローニョ ナヘラ カサルダ ブルゴス	午前、『 巡礼の道 』を進み、カスティーリャの都 ブルゴス へ。途中、巡礼の道の橋の 町ナヘラ (サンタマリア・ラ・レアル 修道院)、巡礼の道の重要拠点 サント・ドミンゴ・デ・ラ・カルザダ 村に立寄ります。 午後、スペインで最も美しい内庭回廊の サント・ドミンゴ・デ・シロス 修道院を見学します。 【ブルゴス泊】 【区】
7	ブルゴス フロミスタ サアグン レオン	午前、 ブルゴス市内観光 (スペイン・ゴシックの傑作のカテドラル、 サンタマリア の城門、旧王立救護院など)。その後、『 巡礼の道 』を進み、レオンへ。途中、 フロミスタ (ロマネスクの華・ サンマルティン 教会)、 カリオン・デ・ロス・コンデス 村(サンチャゴ教会)、 サアグン 村(サンティルン教会)に立寄ります。 【レオンに連泊】 【区】
8	レオン	午前、 レオン市内観光 。ヨーロッパを代表する ステンドグラス のカテドラルや、荘厳なロマネスクの天井画が見事な サン・イシドロ 教会などをご案内いたします。 午後、中世の面影を残す旧市街の散策など、のんびりとお過ごしください。 昼食は レオン 名物 コシード・マラガト です。 【レオン泊】 【区】
9	レオン アストルガ ボンフェラーダ セブレイロ峠 サリア ルーゴ	終日、『 巡礼の道 』を進みます。午前、 アストルガ (大聖堂、巡礼博物館となっている ガウディ が建てた司教館)、鉄十字架の峠 ボンフェラーダ (テンブル 騎士団の城塞跡(外観))、 ビャフランカ・デ・ビエルゾ (サンタマリア 教会)を訪ねます。 午後、ガリシア地方への入口で巡礼の道の最後の難所 セブレイロ峠 (1,109m)を越えて、丘の上の町 サリア (マダレーナ 教会)を訪ね、城塞都市・ ルーゴ へ。 【ルーゴ泊】 【区】
10	ルーゴ ポルトマリ ン ピラル・デ ドナス サンチャゴ・ デ・ コンポステラ	午前、城壁に囲まれた街・ ルーゴ の散策をお楽しみ下さい。 その後、『 巡礼の道 』に戻り、 ポルトマリ ン(聖ヨハネ騎士団教会)、 ピラル・デ・ドナス (サンチャゴ騎士団の墓地とフレスコ画)を訪れ、いよいよ聖地 コンポステラ へ。 モンテ・ド・ゴッソ の 歓喜の丘 にも立寄ります。 ご希望の方は モンテ・ド・ゴッソ から、 大聖堂 までの 巡礼の道 最後の5kmを徒歩にてご案内します。 【サンチャゴ・デ・コンポステラにも連泊】 です。夕食は、ガリシア名物の タコ の 煮込み と ガリシア風エンパナーダ です。 【サンチャゴ・デ・コンポステラ泊】 【区】
11	(パドゥロン) サンチャゴ・ デ・ コンポステラ	午前、 聖ヤコブ の聖遺骸が漂着したといわれる、大西洋のローマ時代からの町 イリヤフラヴィヤ (現 エル・パドゥロン)へご案内します。 昼食は、ガリシア地方の名物の ホタテ貝 の コキール です。 午後、 サンチャゴ・デ・コンポステラ 市内観光。 聖ヤコブ の棺を納める カテドラル や オブラドイロ 広場をご案内します。 【サンチャゴ・デ・コンポステラ泊】 【区】
12	サンチャゴ・ デ・ コンポステラ	早朝、ヨーロッパ主要都市を経由し、帰国の途へ。 【機中泊】 【区】
13	成田 羽田 千歳	午前、成田空港到着。着後、入国審査・税関検査ののち、リムジンバス(実費:¥3,200)にて、羽田空港へ。その後、国内線にて、千歳空港へ。 夕刻、千歳空港到着後、解散。 【スーツケース無料託送サービス 空港～ご自宅】 【区】